

あだち 教育 だより

発行日

発行

編集

平成 30 年 4 月 1 日

足立区教育委員会

学校支援課

NO.

70

第45回日本リトルシニア日本選手権大会 第3位
江戸川中央リトルシニア野球協会

◀千寿桜堤中学校 やまたに 輝親さん(当時3年生)
千寿桜堤中学校 おきもと 涼さん(当時3年生) ▶

全国で大活躍！ “あだちの子どもたち”

区教育委員会では、毎年2月に児童・生徒褒賞式を開催し、文化やスポーツなどの分野で都大会、関東大会、さらには全国大会などで活躍した子どもたちをたたえています。平成29年度は、653名が受賞しました。

2ページでも、ご紹介します。

第8回ヨーロッパ国際ピアノコンクールinJAPAN
金賞(審査員特別賞)

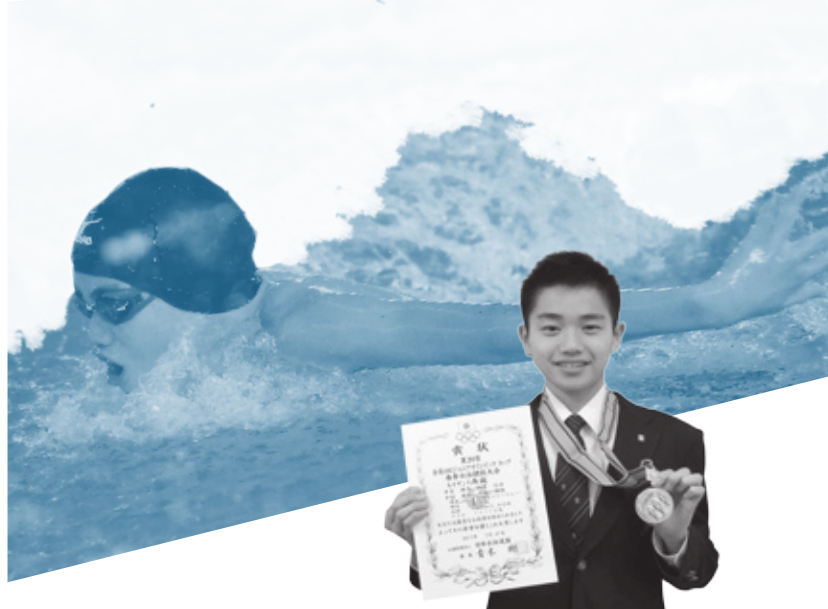
◀弥生小学校 おかの 花菜さん(当時2年生)
中川北小学校 すぎもと 遥さん(当時6年生) ▶

第34回 全国少年少女レスリング選手権大会 優勝
中島根小学校 いちかわ 悠人さん(当時4年生)

「生後10カ月からスイミングスクールに通い物心がつくころには、泳ぐことが当たり前になっていた」と語る仕黒さん。その後も、練習に励み続け、小学6年生のときに全国優勝・大会新記録樹立を成し遂げることができました。

小学5年生の夏に、練習してもタイムが伸び悩み、心機一転、ライバルたちのいる環境に練習場所を移しました。そこで、絶対にライバルたちに負けない強い気持ちで競い合うとともに、仲間でもあるリレーメンバー4人で励まし合い、1日7km泳ぐ過酷な練習に耐えてきました。その結果、ジュニアオリンピック予選では、200mフリーリレーで17年ぶりの日本学童新記録を樹立して、本戦出場を決めました。

そして、小学生最後のジュニアオリンピックでは、「2位で順番が回ってきたが、トップとの差を縮め、次の泳者で逆転できた」と、優勝および大会新記録という最高の形で大会を締めくくることができました。大会を振り返り、「今の自分があるのは、心が通じ合う仲間、コーチ、家族がいたからです。このリレーの優勝メダルは私の一生の宝物です」と感謝の言葉を口にしました。



第39回全国ジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会

11～12歳	男子200mフリーリレー	優勝 (大会新)
11～12歳	男子200mメドレーリレー	優勝
第十一中学校	仕黒 詠士さん (当時 青井小学校6年生)	

第十四中学校吹奏楽部が、平成29年度の全国マーチングコンテストで5年連続となる金賞に輝きました。

十四中の強みは、動きの速さとまとまりのある演奏。この演奏を、部員88名もの大人数で実現するのは困難で、演奏がバラバラになり、ときには口論になったことも。そんなとき、部員の気持ちを一つにするために、一人ひとりが課題意識を持つこと、お互いの考えを理解することが大事であると部員同士で話し合う環境を作りました。「すぐにみんなの気持ちがまとまったわけではないが、意見をぶつけあえたことで、徐々に信頼関係が深まっていった」と部長の和久さんは話します。

団結力を高めたチームは、全国の舞台で一体感のある演奏を披露し、会場を沸かせました。メンバーたちは大会を振り返り、口をそろえてこう語ります。「ぶつかり合いながらも、家族のように自分を理解してくれて、意見を言い合える仲間ができたことが、金賞以上の宝物になった」と。

すごいね！ あだちの 子どもたち

VOL.20



第30回全日本マーチングコンテスト 金賞 第十四中学校 吹奏楽部



Information

学校支援課 庶務係 ☎ 3880-5961

第9回あだち子ども 百人一首大会

平成30年2月24日開催 (小学生)
平成30年3月3日開催 (中学生)

大会ポスター最優秀作品→
花保小学校
おがわ ゆうな
小川 結菜さん (当時6年生)



←大会ポスター最優秀作品
第十中学校
やはた ゆうな
八幡 優奈さん (当時1年生)



↑源平戦一級 優勝 梅島小学校 (左から)

あさの なつみ
麻野 夏光さん (当時6年生)
こばやし ちなつ
小林 千夏さん (当時6年生)
むらた りさ
村田 梨沙さん (当時6年生)

個人戦一級 優勝→
島根小学校
つしま るい
津島 瑠依さん (当時6年生)



↑源平戦一級 優勝 第四中学校 (左から)

り ゆみ
李 郁玖さん (当時1年生)
おおば ゆい
大場 優衣さん (当時1年生)
うちやま まりな
内山 満里菜さん (当時1年生)

←個人戦一級 優勝
東綾瀬中学校
わたなべ かすみ
渡部 可春珠さん (当時3年生)



祝★優勝

区では、子どもたちの日本の伝統や文化を尊重する豊かな心を育む活動として、毎年「あだち子ども百人一首大会」「あだち子ども将棋大会」「あだち環境かるた大会」を開催しています。百人一首大会・環境かるた大会では、読手の声に全神経を研ぎ澄ませながら、一枚一枚を全力で取りにいく姿が見られました。一方、将棋大会では、最善の一手のために、苦悩の表情を浮かべながら考えるシーンが印象的でした。

今後子どもたちの伝統や文化に触れる機会や理解を深める活動を充実させていきます。

第6回 あだち子ども

将棋大会

平成30年1月27日開催



優勝 亀田小学校チーム (V3達成！)
(左から)

うちぞの ちはや
内園 知快さん (当時5年生)
さかもと ゆうた
坂本 悠太さん (当時5年生)
こうぐい え
高 古明さん (当時5年生)



第10回 あだち

環境かるた大会

平成30年1月28日開催



↑個人戦低学年の部優勝
【舎人小学校】
くまだ あすか
熊田 明日香さん (当時2年生)



←団体戦低学年の部優勝
RYN【島根小学校】
(左から)
なかしま ゆい
中島 唯さん (当時3年生)
くりはら るる
栗原 瑠璃さん (当時3年生)
しみず ななみ
清水 菜々海さん (当時3年生)



↑個人戦高学年の部優勝
【花畑西小学校】
すが たかと
須賀 天斗さん (当時5年生)

団体戦高学年の部優勝→
かるたクイーン【栗原小学校】
(左から)

いいだ かか
飯田 佳々さん (当時5年生)
ごう ゆい
郷 結菜さん (当時5年生)
つちだ
土田 さくらさん (当時5年生)



information

百人一首大会、将棋大会
環境かるた大会

青少年課 体験活動調整担当
環境政策課 環境学習係

☎ 3880-5967
☎ 3880-6263

クラスの中での すべての小学校で できた！をめざして コミュニケーションの教

学校生活の中で、物事に集中して取り組むことや、自分の気持ちを表現することが苦手、友達とトラブルを起こしてしまうことが多い、読み書きや計算することが苦手など、お子さんが困っていることはありませんか？

そんなお子さんが、個に応じた指導を受けることができる場所として「コミュニケーションの教室」を平成30年4月にすべての小学校に開設します。「コミュニケーションの教室」では、週に1から8時間まで、クラスの授業に替えて、お子さんが困っていることの解消に向けた指導を受けることができます。

クラスの中での「できた！」が増え、お子さんがより楽しく学校生活が送れるようになることをめざしていきます。

さまざまな場面の子どもの様子を動画で撮っています。あとで本人と一緒に見て、「ボクはこんな風に動いていたのか。次は直してみようかなあ」と子ども自身が客観的に見ることで、自分を見つめ直すことができるようになりました。

「コミュニケーションの教室」
なかの
中野先生

活動例1

コミュニケーションスキルの 向上を図る活動

ラッキーコインゲーム

2人1組で、指示役と動き役に分かれます。動き役は目隠しをして、指示役の指示どおりに動く活動です。相手の話をよく聞く力と、相手に分かりやすく伝える力を育てています。

もう一歩前へ
進んでください

伝え

「コミュニケーションの教室」
すぎもと
杉本先生

どの学校にもコミュニケーションの教室の先生が常にいるのは、大きな強みです。いつでも担任の先生と話ができ、子どもたちのクラスでの様子を見に行けるので、クラスで上手く実践できなかったことを、次のコミュニケーションの教室での指導に生かしています。

連携

information

こども支援センターげんき 支援管理課 特別支援教室担当 ☎ 3852-2868

取材協力 血沼小学校 いのち、すぎもと、うえの、なかの、こまの先生

室が始まります※

子どもの声

コミュニケーションの教室を利用してから、クラスの授業にもついていけるようになり、自信が持てるようになりました。

自信を持つことができた！

活動例2

教科の内容を使った活動

文章の中で分からない言葉があったら、付箋に書いて言葉の意味を調べ、時間を置いてからその付箋を見て、言葉の説明をする活動を行いました。語彙力の向上をめざしています。

自信を持つことができた！

「学級担任」岩谷先生

コミュニケーションの教室の先生が、同じ学校にいますので、頻りに打ち合わせができて、その日の出来事をすぐに共有できています。子どもたちの苦手なところの指導や、できないことの原因を分析してもらい、クラスでの指導に生かしています。

都内初！

足立区は、すべての小学校に「コミュニケーションの教室」の先生がいます。

どんなメリットがあるの？

- Point1** コミュニケーションの教室の先生と保護者の方がいつでも連携できます。
- Point2** コミュニケーションの教室の先生と担任の先生が常に連携して指導にあたります。
- Point3** コミュニケーションの教室の先生が給食や休み時間などの授業以外の時間も子どもたちと関わることができます。

苦手なことを克服する機会が少なくだけで、何度も練習することで、できるようになることがたくさんあります。毎朝一緒にチェックを行うなど、反復作業を大事にしています。

「コミュニケーションの教室」
うえの 上野先生

コミュニケーションの教室での「できた!」は、通過点。自分のクラスで「できた!」ができるように、指導にあたっています。

Information

※ 「コミュニケーションの教室」は、東京都の計画に基づき設置している「特別支援教室」の区の呼称です。対象となるお子さんは、小学校の通常学級に在籍している、知的な発達に遅れはないが心身の発達などに支援が必要なお子さんです。

一流アスリートは

早寝・

早起き・

朝ごはん

を大事にしています！

区で毎年度発行している「早寝・早起き・朝ごはん」のポスターに今年度ご登場いただいた、足立区出身のプロ野球選手・秋吉亮選手。

秋吉選手は、「早く寝て、早く起き、朝ごはんを好き嫌いせずに食べる。当たり前のことをしっかりやるのが大事」と話し、今でもこの習慣を続けています。

プロ野球選手

あきよし 秋吉

りょう 亮

秋吉 亮選手 プロフィール

平成元年足立区生まれ。江北中学校出身。足立新田高校を卒業後、大学、社会人を経て、2013年に東京ヤクルトスワローズに入団。2017WBC(ワールドベースボールクラシック)に出場し、日本代表として活躍した。

新年度がスタート！！

この機会に

ご家庭でのお子さまの生活習慣を見直しましょう！

子どもが健やかに成長していくためには、規則正しい生活習慣の定着が欠かせません。その中でも「早寝・早起き・朝ごはん」は、子どもたちの身体の成長を促し、こころの安定を図る、基本的な生活習慣です。

1 朝7時までには起きよう！

子どもが寝ていてもカーテンを開けて、部屋に朝の光を入れましょう。毎朝、同じ時間に光を浴びることで、脳が朝と認識し、起きられるようになります。

2 主食だけでも食べよう！

まずは、朝ごはんを食べる習慣をつけましょう。朝ごはんを食べることで全身にエネルギーがいきわたります。慣れてきたら、野菜などを取り入れてバランスをアップさせましょう。

3 外で思いっきり体を動かそう！

太陽の光を浴びて、よく体を動かせば、疲れて早く寝ることができます。

4 テレビやスマートフォンなどの使用時間を見直そう！

テレビなどの光が、メラトニン(眠りに誘うホルモン)の分泌を抑制し、眠りの妨げになるため、寝る30分～1時間前には電子機器を消すようにしましょう。

4つのアプローチ

Information

青少年課 家庭教育係 ☎ 3880-5273



区の糖尿病対策の取り組みが

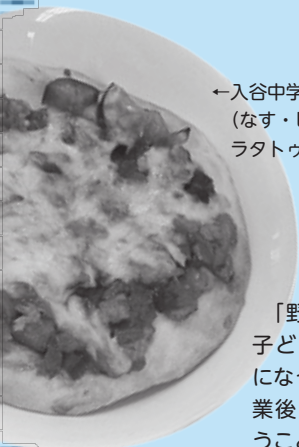
「第6回 健康寿命をのばそう！アワード」で優良賞を受賞しました！

区では、「あだちベジタライフ ～そうだ、野菜を食べよう～」を旗印に小・中学校での「野菜の日」給食や、「ひと口目は野菜から」の声かけ実施など、さまざまな糖尿病対策を進めてきました。

その結果、「小・中学生の野菜摂取量が他都市と比べて増加する」「区民の健康寿命が延伸する」などこれまでの成果が評価され、厚生労働省健康局長優良賞(自治体部門)を受賞しました。



↑ 厚生労働省の福田健康局長(左)と近藤区長(右)

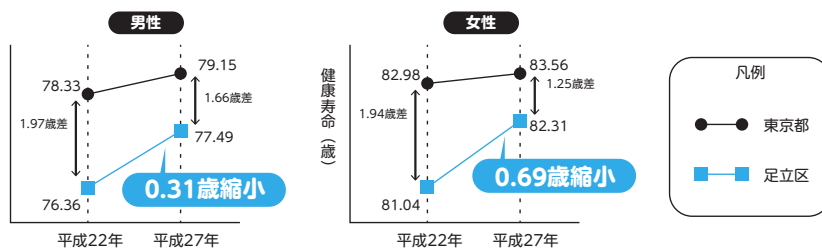


←入谷中学校「野菜の日」給食の一品
(なす・ピーマンを使った
ラタトゥイユのナンビザ)

「野菜の日」給食では、子どもたちに野菜を好きになってもらい、中学校卒業後も野菜を食べてもらうことをめざしています。

最大の成果

● 区民の健康寿命が { 男性は 1.13 歳 延伸し、都平均との差が縮小
女性は 1.27 歳



【出典】厚生労働科学研究「健康寿命の算定プログラム」により、0歳の平均自立期間を区が算出

第9回中学生「東京駅伝」大会結果

平成30年2月4日に味の素スタジアムで行われた中学生「東京駅伝」大会で、足立区選抜チームの結果は、男子16位、女子7位入賞、総合10位でした。

選手一人ひとりが、一つでも上の順位で次の選手にたすきをつなぎたいとの思いで、力強く走る姿が印象的でした。



たくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。



↑ 女子2.5kmの部に出場した300名中、個人トップの成績を収めた第十四中学校の塩入百葉選手。

教育委員会の活動

動き(平成29年11月から平成30年2月)

教育委員会には定例会4回、臨時会2回の開催を通じて19件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。

《主な議案》

- * 足立区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の送付について
- * 足立区における保育の利用等に関する条例の一部を改正する条例の送付について
- * 足立区特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の送付について
- * 足立区立図書館条例の一部を改正する条例の送付について

会議の傍聴

会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員の主な活動

平成29年

11月 市町村教育委員会研究協議会
小・中学校周年記念行事
第1回総合教育会議
教育委員協議会

12月 教育委員協議会

平成30年

1月 成人の日の集い
教育委員協議会

2月 市町村教育委員研究協議会
教育委員協議会

ありがとうございました
足立区育英資金寄附金

●公益社団法人 東京青年会議所足立区委員会 様
●高橋 文江 様 ●公益社団法人 足立法人会 様

●中村 政信 様 ●渡邊 金作 様
●足立明るい社会づくりの会 様 ●匿名 5名

Information

糖尿病対策
「野菜の日」給食
「東京駅伝」大会

こころとからだの健康づくり課
学務課
教育指導課
おいしい給食担当
教育指導係

健康づくり係
☎ 3880-5427
☎ 3880-5974

☎ 3880-5433
教育委員会の活動
足立区育英資金寄附金

教育政策課
学務課
教育政策担当
助成係

☎ 3880-5962
☎ 3880-5977

竹の塚中学校

「竹坊」まちづくり活動

「学校から発信するまちづくり」「優しいふれあい」をテーマにオリジナルキャラクター「竹坊」を考案し、西校舎の窓に竹坊ステッカーを張って、足立区や竹の塚地区のPRを兼ねた安らぐ景観を提供しました。また、「竹の塚安全・安心まちづくりキャンペーン」では、花壇に竹坊プレートを取りつけ、防犯意識を高めました。竹坊を通じて、地域の絆を深めています。



↑オリジナルキャラクター「竹坊」

鹿浜菜の花中学校

こども食堂「いちか」ボランティア活動

地域の住区センターで毎月1回行っている、こども食堂「いちか」に生徒たちがボランティアで参加し、食堂にやってきた児童に勉強を教えたり、一緒に遊んだりしています。また、夕食機のセッティング、配膳、片付けなどの手伝いも行い、豊かな心を育んでいます。



みんなの学校の
よいところを
教えて



「ビューティフル・スクール運動」 を推進しています！

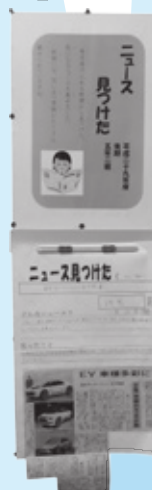
「児童・生徒が学校のよいところを見つめなおし、自らの学校を愛する心情を高める」ことをねらいに、各校の特色を生かした活動や力を入れて取り組んでいる活動などを、教育委員会がビューティフル・スクール運動として認証しています。

平成29年度は、特に優れている活動として、5校を特別表彰しました。

花畑小学校

「ニュース見つけた」 (新聞コンクール応募)

新聞記事を読んで、それに対して自分が考えたことをまとめる「ニュース見つけた」を夏季休業期間中の課題として、全児童で行いました。活動を通して、児童からは「もっと新聞を読みたい」という声が出るようになり、社会情勢に興味を持つようになりました。一年を通して、小学5・6年生が各学級で取り組んでいます。



皿沼小学校

5分間マラソン

全児童が毎日、中休みの終わり5分間にマラソンを行っています。基本コースに加えて、レベルの高いアスリートコースやスーパーアスリートコースなどを設けることで、体力向上を図っています。また、体育委員会の子どもたちが低学年の子どもたちに走り方を教えるなど、異学年交流にもつながっています。



大谷田小学校

一日60分運動 (校庭人工芝化)

体力づくりのために、一日60分運動することを目標に掲げ、「全校体力づくりタイム」、朝、中休み、昼休み、放課後に人工芝化された校庭での外遊びを励行しています。その結果、東京都教育委員会から体力向上推進優秀校の表彰を受け、子どもたちはますます張り切って運動に励んでいます。

